

東に烏帽子岳、西に赤崎岳、北に弓張岳。
そしてかつての佐世保軍港を見守るように、
ここ南の天神山のふところに
佐世保東山海軍墓地があります。



「拜殿」に向かって左側に「海の防人之碑」、左端に「西海観音像」、「東郷元帥像」があります。



自衛隊殉職隊員の「追悼式」における弔銃発射風景

「海の防人之碑」には、
すべての御霊の霊名
簿が奉納、安置され
ています。



戦没者追悼式の様子



明治16年、佐世保港測量以来、
明治22年の佐世保海軍鎮守府
開庁に尽力された日本海軍の
ヒーロー「連合艦隊司令長官
東郷平八郎元帥像」。

佐世保東山海軍墓地の沿革

1889（明治22）年開庁した佐世保鎮守府は、当時東彼杵郡日宇村福石免と呼ばれていた現在地を買収し、墓地区画として整理し逐次殉職者の埋葬を始めました。大東亜戦争終戦までは海軍管理の国有地でしたが、終戦後1951（昭和26）年10月に佐世保市に譲渡され、1959（昭和34）年5月に「東公園」として整備されました。

1985（昭和60）年4月に「佐世保東山海軍墓地保存協会（現佐世保海軍墓地保存会）」が設立され、旧海軍7団体、海上自衛隊OB会及び海上自衛隊などの協力を得て墓地整備をすすめ、ほぼ現況に復されました。

当初、全区画は甲、乙、丙、丁、戊の五区に分けられ、甲区から丁区は士官・兵等、戊区は合葬碑とされましたが、戦後建立されたものはこの通りになっていません。

碑は合葬碑・個人碑に分けられ、合葬碑は戦前のもが15基、戦後には45基が建立されています。個人碑は戦前のもが417基あり、その中には陸軍兵士3名、ドイツ水兵1名の墓も含まれています。

2003（平成15）年5月には、「拜殿」に向かって左側に旧海軍戦没者、並びに海上自衛隊殉職隊員の慰霊顕彰の碑として「海の防人之碑」が建立されました。

現在、この海軍墓地には佐世保鎮守府管内（九州・四国・沖縄）の17万6千余柱と共に、海上自衛隊殉職隊員（佐世保警備区内）の御霊が祀られています。

毎年5月27日には「日本海軍戦没記念式典」、8月14日には「お盆供養行事」、秋には「佐世保市戦没者追悼式」や佐世保地区自衛隊殉職隊員の「追悼式」が開催されているほか、艦船・部隊ごとに慰霊祭も執り行われています。

また、今日では列国海軍等武官の弔問の対象施設として献花がなされています。

朝日を背にここ天神山から眺める佐世保港の景観は素晴らしい、園内は常に清掃され、供花の絶えることはありません。桜の季節には老若男女が集い、年間を通じて県内外から多くの参拝者が訪れています。



一般社団法人 佐世保海軍墓地保存会

〒857-0842 長崎県佐世保市東山町182番地1
TEL/FAX (0956) 88-8397
HP: <http://www.tvs12.jp/~s-kaigunbochi/>

佐世保頌徳会

〒857-8585 佐世保市八幡町1-10 佐世保市市民安全安心課内
TEL (0956) 25-9618 FAX (0956) 25-9675



日本遺産「鎮守府」構成文化財

佐世保 東山海軍墓地 東公園





⑨ 名曲「美しき天然」作曲者

海軍軍楽長
正七位勲五等 田中穂積之墓
岩国出身の田中は佐世保海軍で第3代軍楽長となります。明治33年、私立佐世保女学校での教育用のため、武島羽衣の詞に曲をつけました。この詩・曲は雄大な九十九島の自然美を見事に表しており、不滅の国民的愛唱歌として広く親しまれ、今も歌い継がれています。



⑩ 「まだ沈まずや定遠は…」

海軍三等水兵
正七位 三浦虎次郎之墓
佐賀県生まれの虎次郎は明治25年、16歳で佐世保海兵団に入りました。明治27年、日清戦争「黄海海戦」に砲員として奮戦中、瀕死の重傷を負うが「副長、まだ定遠は沈みませんか!」と尋ね、「まもなく沈むぞ」の声を聞きや、安心したかのように息を引きとりました。



⑪ 「杉野はいずこ…」

海軍兵曹長
勲六等功六級 杉野孫七之墓
「軍神広瀬中佐」の歌で有名な杉野兵曹長の墓です。日露戦争激戦のひとつ、難攻不落の旅順口封鎖作戦中、広瀬中佐ら決死隊は猛烈な敵砲弾の中で奮闘。部下想いの広瀬は生死不明の杉野を懸命に捜し回っていたその時、敵弾をまともに受け戦死し、日本国民に涙と大きな感銘をあたえました。

⑫ 「シャンリク」恐るべし!

上海事変戦死者之碑
昭和6年9月18日に勃発した満州事変は上海事変へと拡大しました。佐世保と呉から編成された「上海特別陸戦隊」はわずか2,700、敵の支那正規軍は7万。しかし我が「シャンリク」は少しもひるまず大いに善戦し、居留民保護の重責を果たしました。その後、勢いに乗った日本軍はついに上海を占領し、大勝利となりました。



① 大東亜戦争戦没者慰霊塔
目標額を大きく上回る募金により、昭和32年5月建立されました。大東亜戦争で散華した13万余柱の御霊が眠っています。



② 戦艦「金剛」慰霊碑



③ 佐世保鎮守府 潜水艦合同慰霊碑
墓地内でひときわ目をひくのが世界にも類のない「海大七型潜水艦」20分の1の石碑。大東亜戦争期間中に喪失した潜水艦32隻、将兵2,591名の霊を記っています。



④ 空母「加賀」慰霊碑



⑤ 空母「飛龍」慰霊碑



⑥ 空母「大鷹」慰霊碑



⑦ 一等巡洋艦「羽黒」慰霊碑



日露戦争後の佐世保港